

主催:倉吉市 運営サポート:(株)鳥取銀行

# 旧グリーンスコーレせきがね再生事業への 民間活力導入に向けた地元事業者向け説明会

講師:株式会社ブレインファーム

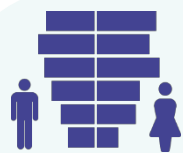
代表取締役 新谷 聡美

(国土交通省 PPP協定パートナー企業)

(PPPコンサルタント / 中小企業診断士)

倉吉市では、  
地元の大切な資産である  
旧グリーンスコーレせきがねを  
公民連携で再生しようと  
考えています

# 公民連携とは何か？



少子高齢化社会の進展



公共施設の老朽化



社会保障費の増大



住民ニーズの多様化



地方自治体と民間事業者等が**連携**し、**民間事業者のノウハウ等をうまく活用**して公共サービスを継続的に実施していく手法<sub>3</sub>

# たくさんある 公民連携の手法の中から

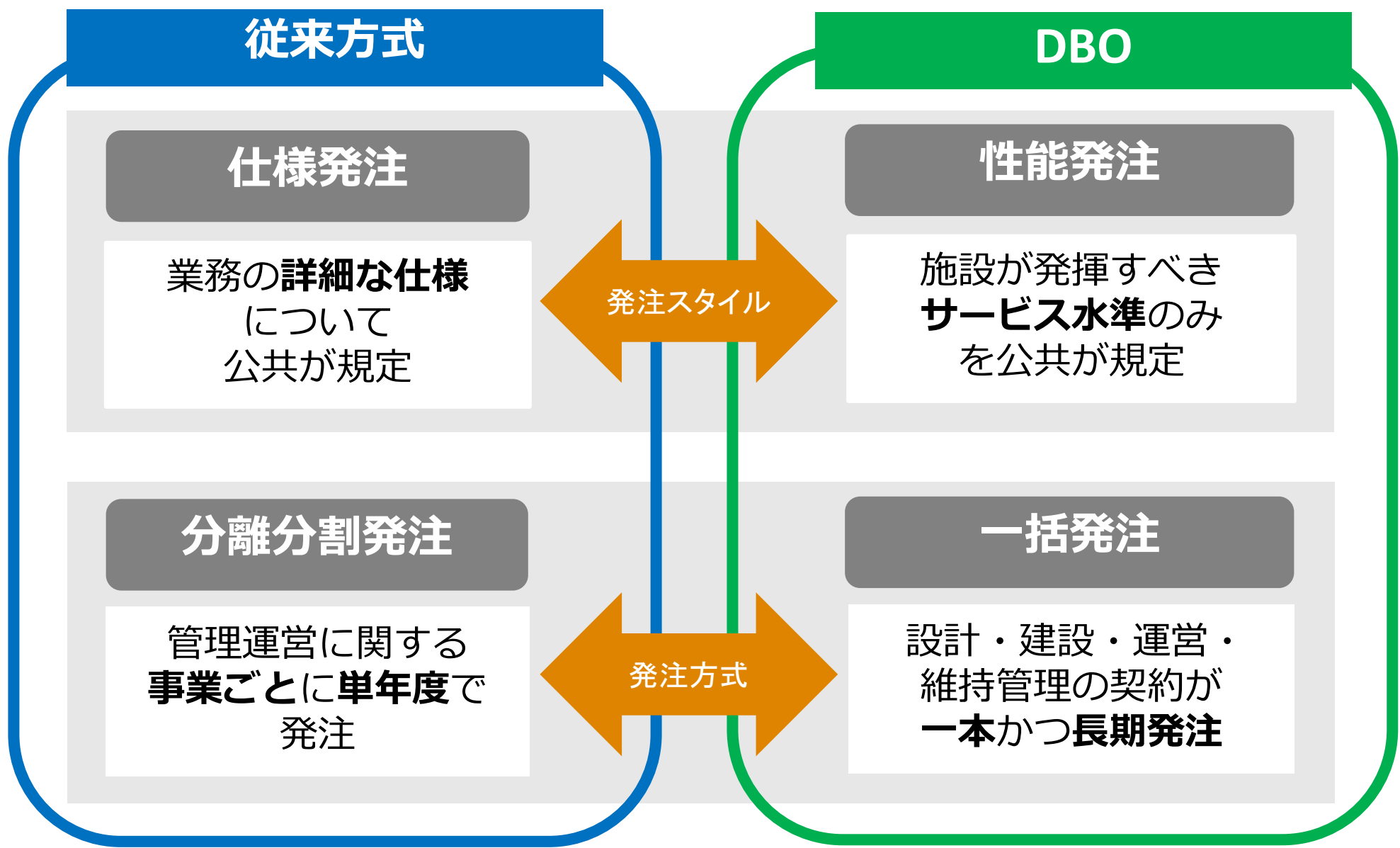
**業務委託**（従来型の分離分割発注方式） + **指定管理**

または

**DBO**（設計・建設・運営の一括発注方式）

という手法のいずれかを採用することを  
検討しています

# それぞれの発注スタイル・発注方式の違い

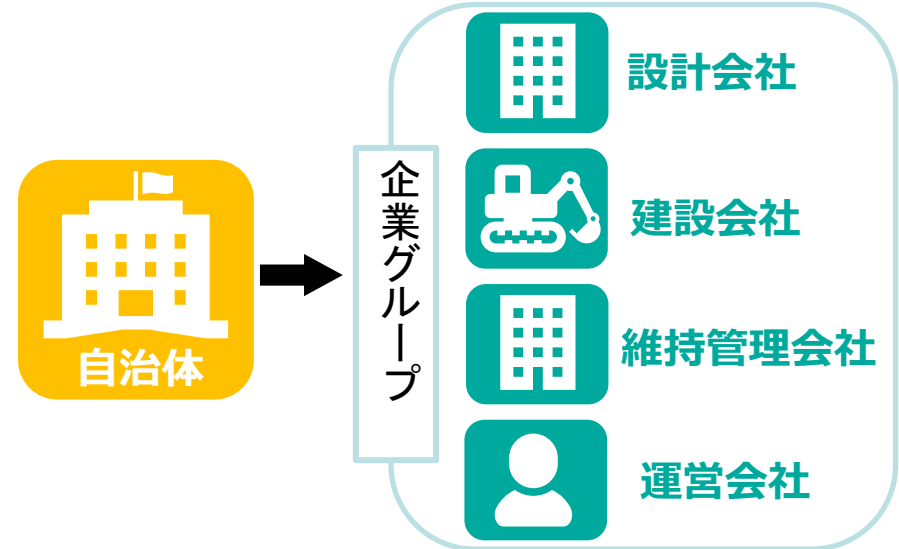


# それぞれの発注方式・発注スタイルのメリット・デメリット

## 従来方式（仕様発注・分離分割発注）



## DBO（性能発注・一括発注）



地元事業者の皆さまが慣れている方式なので参画しやすい

市内で初めて採用される方式なので理解と準備が必要

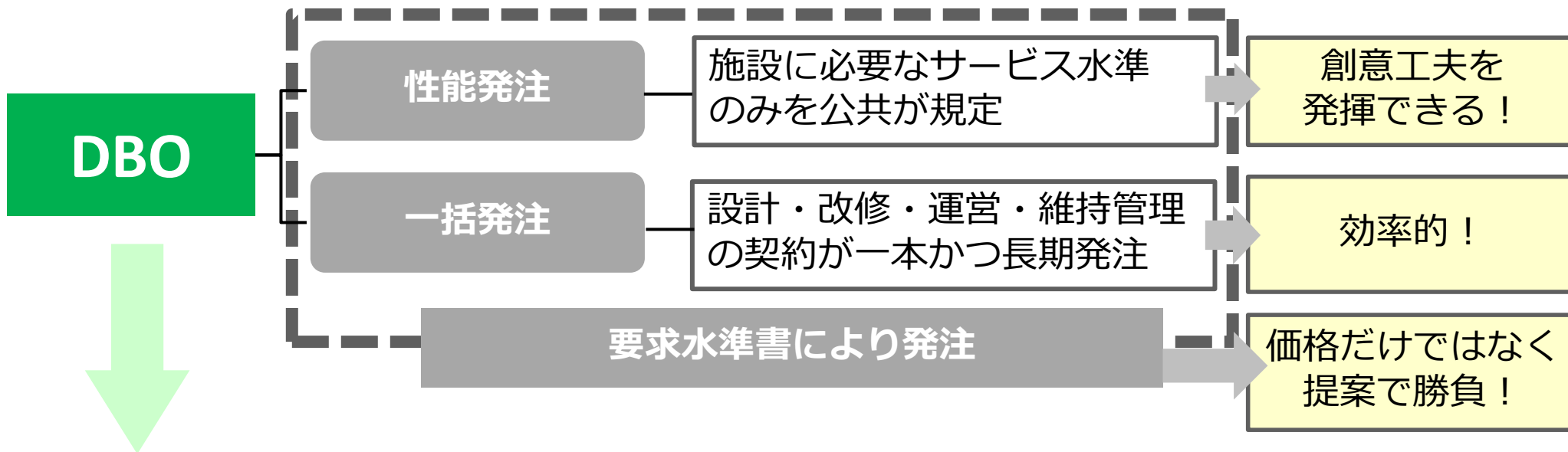
バラバラの契約で、それぞれが個別に業務を進める（運営会社は指定を受けるまで立場が保証されない）

設計段階から運営会社も同じグループであり、意見交換しながら進めるため施設の魅力向上が図りやすい

設計・建設は基本的に入札となるため価格勝負が中心

総合評価のため、価格だけではなく提案や工夫も審査対象になる

# DBO方式に備えるためには



**誰とチームを組むのか、グループ組成を考えましょう**

( 運営事業者の候補は、サウンディング参加時に確認可能 )

**サウンディングに参加して、自治体と意見交換しましょう**

**何を提案するか、チーム内で検討をはじめましょう**

# サウンディング参加のポイント



公共サービス

公共サービスを継続的に実施



地方自治体

連携

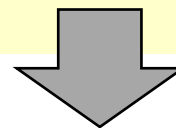


民間事業者

## サウンディング

自治体と民間が双方向で協議しあい  
パートナーシップを発揮する場

- ・ 公共⇒より良い提案をもらえるよう情報を説明
- ・ 民間＝より良い公共サービスが実施できるよう



- ①望ましい事業手法や参入方式
  - ②自分達が実施したい事業内容
  - ③現時点で想定される建設費・指定管理料等
  - ④募集要項（案）・要求水準書（案）
  - ⑤市への要望
  - ⑥新型コロナウイルス感染症の本業への影響
  - ⑦参入可能性及び参入障壁・事業実施リスク
- など



# ご清聴ありがとうございました

PPPに関する  
無料相談窓口

## 株式会社ブレインファーム

東京都港区赤坂4-1-1 SHIMA赤坂ビル3F

Tel:フリーダイヤル0120-181-015 Fax:050-3588-0077

URL:<http://www.brainfirm.co.jp>

E-mail:[info@brainfirm.co.jp](mailto:info@brainfirm.co.jp)